

えんだよい 8がつごう



外から セミの大合唱が 聞こえる季節に なり
ました。子どもたちの育てた 夏野菜も おいしそう
に 実っています。

8月も 後半になり 夏休みや 体調不良で お
休みしていた こどもたちが もどってきています。
今年はおじいちゃん・おばあちゃんに「三年ぶりに
あってきました」「うまれて はじめて 会いました」
というお話を 聞きます。インターネットが 普及し
て 離れていても 顔を見ることが出来る 時代に
なったけれど やっぱり 心れあうことで 距離が
近づきますよね。

夏は みずあそびの 季節。しかし 暑すぎて
熱中症が 心配で 長い時間できません。「もう
お部屋はいるよ」の声に 大泣き。命にかかわること
だから おとも「もっと あそびたいよね～」と
笑顔で 声をかけながら 非情に 終了。しずかち
ゃんの顔をして 行動は ジャイアンに になってしま
います。後半は 思う存分 みずあそびが できる
といいですね。

園庭の畑で すいかとメロンが できています。
栽培初心者ばかりの わたしたち 「いつとるの？」
「いつたべられるの？」と こどもといっしょに わ
くわく。6日ごろに 収穫したメロンは 1週間ぐら
いで おいしいにおい。おやつのはじめに きってみ
たら 「おいしい！」 その日に 登園していた
メロン好きが 「こんにおいしいのに たべないの？」
と おともだちを さそっていました。たべもの
好みは ひとそれぞれと わかっているけど 食べて
もらいたくなっちゃうほど おいしいメロンでした。



8月のよてい

17日 園児健診

25日 わくわくひろば

9月のよてい

9日 にじいろメニュー

21日 園児健診

22日 わくわくひろば

30日 にじいろメニュー

新型コロナウイルスの感染者が 増えています。
元気に通っていたのに 急な発熱で 陽性になる
人たちが います。前のように 休園になったり
濃厚接触者を 決めたりしないので 感染者が
出た時には みなさんに 体調観察を 今まで
以上に 気を付けていただく必要が あります。
誰でもかかる病気ですが いまだに かった人
への偏見が あるようです。そのため 保育園で
は 感染者の情報は 乳児クラス・幼児クラスとい
う おおきなくくりで お知らせしています。保
園の みなさんからは かったひとへの 暖かい
声を いただいています。そうでない状況も
あるようです。ご理解のほどよろしくお願
いいたします。

にゅーす あるりむ ぱりた
News・おしらせ・알림・balita

★ 退職しました。

お世話になりました

☆ あたらしいスタッフです。

よろしくお願
いします

★ 園庭で 工事が 行われます。床下に 水
が たまるため 原因を探し 修復する工
事です。安全のため 園庭遊びは しばらく お
やすみです。

「平和な生き方」

「イエスが座り、十二人を呼び寄せた。『いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい。』」

(マルコによる福音書9：35)

8月は「平和」が繰り返し語られます。「平和」とはどういうことでしょうか。聖書では「シャローム」という言葉で言い表されます。「シャローム」は「戦争がない状態」や「欠けや歪みが少しもない完全な状態」または、「無事」「安泰」「安心」など、「社会的にも精神的にも満たされた安らかな状態」を意味するようです。

まことに、誰もが「争い」や「戦争」で傷つくこともなく「安心」して、「満たされた安らかな」生活が送れる「平和」を願っているにもかかわらず、現実はそうではありません。現在進行中のロシアによるウクライナへの軍事侵攻を見てもそうです。

戦争体験者は語ります。「戦争は、兵隊さんだけでなく、子ども、高齢者などの一般民衆までもが犠牲になる、戦争は絶対にやってはいけない」と。一人一人にできることは限られているのかもしれませんが、わたしたちは戦争を繰り返さないために、日々の生活をどのように送ればよいのでしょうか。

今月の聖書は、「だれがいちばん偉いかと議論し合っていた」弟子たちを呼び寄せて語ったものです。「いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい」と。

イエスさまは、何と「いちばん先になりたい者」に対して、「いちばん先になる、偉くなる方法」ではなく、むしろ「すべての人の後になり、すべての人に仕える者になる」と言われました。イエスさまの言う「すべての人の後になり、すべての人に仕える」のは、「上位志向」に基づいたあり方で人の前に立つのではなく、それを「手放してゆだねる」ように促しているように思われます。

「自分だけの幸せ」や「自分がいちばん正しい」という姿勢などから、「自分だけが正しいわけではない」という姿勢と「かわり」「共感」「共生」という積極的な意志やあり方が求められているのではないのでしょうか。

神さまは、天地をお造りになり、すべては極めて良かったと言い、安息なさいました。神さまがすべてのものに込められた「愛」「平和」「安息」を礎にして、「すべての人に仕える」共に生きてゆくための「平和の道具」にしてくださいと願うものであります。

(チャブレン 鄭富京)

7・8月のフォト

